

令和3年度

日和佐小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 分かる授業・児童の思考を深める授業の実践
- 言語活動を充実させ、児童の表現力を伸ばす授業の実践
- 子ども同士が互いに認め合い、学び合う授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員  
 委員 教頭：賀原有紀 教務主任：池内奈津子  
 学力向上推進・通級指導・巡回相談員：森 真美  
 第6学年担任：野田知栄子 第3学年担任：山本知子  
 第1学年担任：岡本寛美  
 特別支援コーディネーター：中西可奈江

校長

豊崎 好美

【小中連携または中高連携における共通の取組】

【各校における実行プランの取組状況の把握について】

「主体的・対話的で深い学び」の充実を図り、思考力・表現力を伸ばす授業を構築する。

管理職・教員相互による授業参観、教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○学習内容をおおむね理解し、基礎・基本の力が身に付いてきている。特に、朝の活動時間を利用した漢字・計算練習の実施により、漢字の読み書きや計算については、ある程度の定着が見られる。</p> <p>●個人差があり、理解や定着に課題があったり、漢字・計算の定着や長文を読み取ることが十分ではなかったりするなど、個別支援の必要な児童が多い。</p>	<p>・書くこと・聞くこと・話すことを大切に、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。また、文章を正しく読み取ることができる。</p> <p>・学習の過程で習得した知識を、既習の知識と関連付け、他の学習や生活の場面において活用することができる。</p>	<p>・漢字・計算の学習を計画的に行い、定着度の確認を継続していく。</p> <p>・宿題の提出を確実にするとともに、音読練習や日記指導・ノート指導の充実を図り、家庭学習の習慣がしっかりと身に付くようにする。</p> <p>・発問や指示が児童に分かりやすいものにする。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○継続的なノート指導や日記指導などにより、文章表現力が付きつつある。また、話し合いの仕方を理解し、自分の考えを進んで発表することができる。ペアや小集団での話し合い活動を多く取ることにより、話す力も育ってきている。</p> <p>●自分の考えを相手に分かるように筋道を立てて言葉や文章で表現することや、人の話を正しくきちんと聞き取ることなどが十分ではなく、課題に応じて必要な情報等を取り入れたり、自分の考えをまとめて複数回考えから新しい考えを創造したりすることに課題がある。</p>	<p>・自分の考えを、根拠や理由を明らかにし、筋道を立てて相手に分かるように、言葉や文章で表現することができる。また、教師や友達の話をしっかり聞き取ることができる。</p> <p>・習得・活用・探究の各場面において、適切な言語活動により表現することができる。</p>	<p>・教科の学習活動・学級活動・集会活動等において、交流(話し合い等)の機会を設定し、互いの感想や考えを伝え合うことができるようにする。</p> <p>・ホワイトボードやICT等を効果的に用いるなど、発表方法を工夫する。</p> <p>・ノートが思考の助けとなるように工夫するとともに、学習のまとめや振り返りを書く場面を設けたり、日記指導などを通して、文章表現が不十分な点を改善したりする。</p> <p>・考える時間を確保し、自分の考えがもてるようにする。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○与えられた課題に対して真面目に、最後まで粘り強く取り組むことができる。また、宿題以外の家庭学習にも進んで取り組む児童が増えてきている。</p> <p>●決められた課題には意欲的に取り組もうとする姿勢が見られるが、自分から課題を見つげたり、疑問に思ったことやわからないことについて追究したりする態度はまだ十分に育っていない。</p>	<p>・学習に主体的に取り組み、自ら課題や問題点を見つけ、進んで考え、学ぶ楽しさや喜びを感じることができる。</p> <p>・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。</p>	<p>・学年に応じた自主学習の方法を提示し、宿題以外の家庭学習にも意欲的に取り組めるようにさせる。</p> <p>・授業においては毎回、学習のめあてを提示し、問題解決的学習の充実を図るとともに、毎時間あるいは単元末ごとの振り返りの際は、視点を示した上で記述させる。</p>			